

復興支援異分野連携プロジェクト 「食と農業部会」「エネルギー部会」

被災地域の付加価値農業支援（農業イノベーション）6次産業化支援から植物工場支援まで、農業イノベーションの技術募集 報告書

開催日時：平成24年1月24日（火）16:00～18:00

開催場所：秋葉原 UDX 4F UDX オープンカレッジ

参加人数：参加者数:25名

【開催目的及び進め方】

復興支援異分野連携プロジェクト会議の中の農業支援のための部会。プロジェクト構想や個別技術をプレゼンテーションしていただくと同時に、自然エネルギー、食品加工、流通、販路など、それぞれのプロジェクトのマッチングや、農水省・経産省などの予算、地域の交付金、あるいはアイデアを必要としている自治体とのマッチングなどをおこないながらプロジェクト化を進めていく。今まではオープンな会議を中心に行ってきたが、個別プロジェクトとしてクローズドな会議も開始している。

【会議内容詳細】

◆会議概要説明

新産業文化創出研究所 所長 廣常啓一

1. 「復興支援異分野連携プロジェクト」概要

復興支援異分野連携プロジェクトでは、現地ニーズ調査や支援したい企業のシーズをまとめ、第一次提言としている。プロジェクト化して、現地への提案を第二提言。被災地の自立を目指している。

ナレッジプラットフォームでのワークショップからプロジェクト実現、そして産業創出までのフロー

※オープンイノベーションプラットフォーム「UDXオープンカレッジ事業」を活用



2. 農業支援

震災前からあった担い手などの農業の問題を解決すべく、自然エネルギーと植物工場などを組み合わせた農業支援プロジェクト。植物工場、ハウス栽培からスマートアグリや六次産業化まで視野にいれている。

用水路を活用した小水力発電ほか、太陽光発電、風力発電によるエネルギー供給。屋外植物工場。ITを活用した植物工場。一次加工、二次加工。流通支援。事業者組成と人材育成。資金供給。六次産業支援。これらを最適に組み合わせ、地域のニーズに合った植物工場をプロトタイプとして作り、その後全国展開。(詳細略)

3. こども大学 農業イノベーター育成プロジェクト

新しい農業を考える場合、次世代にバトンタッチをしていく必要がある。地元の小中学校に植物工場などのミニプラントを入れて、こども向けプログラムを作る。農業プログラムの提案も募集している。5年後、10年後には定着した

◆「農業用微生物製剤 ビオタマックスで土壌改良」

有限会社バイオフィューチャー 代表取締役 吉岡克祥氏

人間が健康を保つには栄養と腸内細菌が必要だが、植物も同じ。微生物と微生物の栄養となる有機肥料を使って地力回復。

1)有用微生物の増加

2)有機物の分解促進

- ・土壌の質が良くなる
- ・根のはりが活発になる
- ・成長が良くなる
- ・枯れにくい
- ・作物の収穫期間も長くなる
- ・収穫回数が増える
- ・収穫量が増える
- ・収穫後の日持ちが良い
- ・味が良くなる

◆「未来農業同人G11の目指す事業」

クロスオーバー合同会社 代表社員 木村吉博氏

未来農業同人は農業生産法人の取得を目指している。

①東北農研機構で開発した「すずこま」を使って植物工場事業を検討。(試験栽培 4月より)多収多消費を目指したクッキングトマトをターゲットとしている。

- ・調理用トマトホール缶
- ・パッシブ水耕法検討
- ・ストレスコントロール、温度、湿度、照明コントロール等実験・検討中
- ・もみ殻を活用した新型ボイラー検討

②トマトメジャー品質「ももたろう」を使って植物工場を検討。

- ・宮城県の南部でトマトの水耕栽培（福島県の方の応援）
- ・プロジェクトファイナンス。半年の運転資金が必要。

◆「農業 I T を活用したアグリコミュニティ&スマート」

株式会社 NTT ファシリティーズ 新谷義男氏

コミュニティと再生可能エネルギーを活用したスマートコミュニティの実現を農業 I T を活用して検討。

NTT ファシリティーズは地域再生への取組から発展して農業へ。エネルギー（エネットなど）の供給や制御においてははじめられた。

大規模化、先端化されていく農業においては、NTT ファシリティーズは I C T を使ってで支援していく。ビルのエネルギーモニタリングのためリモニ計測ユニットの活用。

◆ユナイト 鈴木氏

食品スーパー福島屋の関連会社。

①「津々浦々物語」

よい品物を発掘してファンを増やしていく。

現地調査、商品の取得審査を行い、福島屋においてテスト販売を行う。売れる商品に関しては販路広げていく。売れないものに関しては生産者に戻して売れるものにしていく。

1800 アイテム/年。販路としては囲いこむのではなく、オープンに広げる。

②「自然塾」

- ・ 新規就農者を教育する場
- ・ 有機農業教室
- ・ 養蜂場との提携など

以上。